

# 新風

発行 神石高原町議会議員

## 木野山孝志 後援会

平成23年12月31日 NO.29

神石高原町父木野2953-1

ホームページ <http://www7a.biglobe.ne.jp/~t-kinoyama/>



平成24年の新春を迎えたが、昨年を振り返ると激動の年でした。菅、野田と続く民主党政権のもたもたと、大阪市長選の橋下氏当選による地方分権への流れ、3月の東日本大震災とともに伴う原発事故、復興処理の遅れと放射能汚染、EU諸国との

経済混迷と世界不況、止まらない円高、中国の霸権主義と北朝鮮金日成の死、五年先どころか明日の予測がつきません。今年は、アメリカと韓国の大統領選挙の年です。おそらく日本も衆議院解散総選挙となるでしょう。

我が町に田をやると、平

成23年度は井関住宅団地造成、CATV整備、新三和小学校建設の3プロジェクト事業が完了しその運用の年となりました。住宅団地は平成24年度で50戸売却の目標へむけて昨年末で35戸の完売、CATVの運用開始、6月定期会から議会中継も始まりました。新三和小学校も、4月から123名の元気な児童が通っています。インターネット加入や今後の利用拡大、源流の里対策、無医地区の対策、保育所や支所の在り方、教育環境整備、農業、産業振興等々、そして何より少子高齢化対策、課題はてんこもりです。

例会が招集される前日の8日、議会としての政策提言書を町長に提出しました。また、12月定例会に減債基金1億円から16日まで開かれました。一般会計12月補正予算や税条例の一部改正など14議案、議会改革推進特別委員会設置の決議案など発議2件を可決・採択しました。

一般会計では、7147万円、特別会計では1175万円を追加補正し、合計額は、それぞれ、109億

## 減債基金1億円を積立

12月定期会

**億円を積立**  
**12月定例会**

主なものは、次ページの表のとおりですが、将来の借金返済に備えて減債基金に1億円の積立、神石小学校改築設計に2590万円、農地、農業用施設災害補助復旧事業に2099万円などが追加補正されました。

6186万円、43億8170万円となりました。

揮し、政策提言と諸々の課題解決に取組みますので、格段のご指導を宜しくお願い申し上げます。

△条例改正  
△条例改正

○神石高原町税条例の一  
部改正

対する過料を3万円から  
10万円に引上げる。  
(脱税対策)

平成23年12月一般会計補正予算			(単位:万円)四捨五入
費目	補正予算	補正後予算	主な内容
議会費	49	1億0196	議会経費 45
総務費	345	17億9608	職員人件費183、一般管理費▲671、省エネ・グリーン化支援事業170、税務総務費250
民生費	2272	17億1486	社会福祉総務経費(送迎用車両など)273、障害者介護1743 介護保険繰出経費▲194、子ども手当102
衛生費	90	10億1652	やすらぎ苑200
農林水産費	▲4698	9億1764	地籍調査費▲1510、林業再構築プロジェクト▲5279、林道大畠線1465
商工費	40	9224	自然公園管理経費30
土木費	▲5782	5億0114	町道維持(油木・豊松)400、 社会資本整備総合交付金事業(仁後線。仁川谷・時安)▲5886
消防費	▲83	4億4211	トランシーバー17
教育費	2815	6億1167	神石小学校改築設計2590
災害復旧費	2099	3億9266	農業施設災害37箇所・農地災害38箇所
公債費		22億2020	一
諸支出金	1億	11億1477	減債基金積立経費 1億
予備費		4000	一
合 計	7147	109億6186	



### <12月定例会(主なもの)>

#### ○教育委員会委員の任命同意

藤原和則さん(上豊松) S28/07.02 生  
ご活躍をお祈りします。

#### ○工事請負契約の締結

##### 屋外用放送用拡声装置設置工事

工事場所 町内33箇所(油木9・神石10・豊松5・三和9)

請負金額 72,586,500円

請負者 西日本電信電話(株) 広島支店

工 期 議決日～H24/03/23

(\*6月議会・予算8,085万円 公募により入札 12・11仮契約)

本町の公債費負担適正化計画改正(平成23年度)の概要が公表されました。実質公債費比率が平成23年度が18%となり次年度は18%を切る見通しとなつたので、次年度からは計画書の提出は不要となりました。

合併当時は、過剰な施設や借金で高比率でしたが、平成20年度からの普通交付税の増額や繰上償還の実施などで比率が改善しました。

組みは、①借金返済額の半分しか借りない。②事業は継続事業に限る。③減債基金の積立と繰上償還を行う。④水道事業の効率化を図るなどです。

今後予定の神石小改築145億円、統合中学校建設145億円は計画に参入されていますが、引き続き健全化の努力が必要です。実質公債費の推移は表のとおりです。

実質公債費比率の見通し <既往債及び財政計画に基づく実質公債費負担の将来設計>						
	前年度 H17年度	計画策定年度 (H18年度)	第4年度 (H21年度)	第5年度 (H22年度)	第6年度 (H23年度)	第7年度 (H24年度)
単年度	20.2%	22.4%	18.1%	14.6%	11.6%	10.9%
3カ年平均		19.8%	21.9%	20.5%	18.0%	14.7%

公債費負担適正化計画を  
平成23年度18%に改正

# 問質般

## ★9～10月実施の学力調査の結果は (課題は解消できていたか)

#### ★教育体制（環境整備）の長期的展望は

**教育長** 全国学力状況調査では、小学校に於いては算数のA問題が全国の平均正答率を1ポイント下がったのみで国語A・B、算数問題Bとともに全国の平均正答率を上回っている。中学校に於いては、国語、数学のA・Bともに全国を昨年度以上に上回っているという結果です。

## 基礎基本は定着

本的項目は小中学校ともに概ね定着して来ていると言えますが、小学校算数の基礎的・基本的項目が「マイナス1ポイント」でした。また、活用に関する問題は「プラス0・7ポイント」という事で、昨年同様に課題の部分だと思っておりました。

昨年度の課題として上げました、①小学校の将来の夢や目標はかなうと思いますか、②自分には良いところが有ると思いますか、③自分の良さは周りか

ら認められていると思いま  
す。に於いて①、②は県  
の平均値を下回っています  
ものの、その差については  
改善がなされています。③  
については、県の数値を今  
年度は上回りました。

## 自己肯定感は改善

結果として、自己肯定感  
や将来の夢に関する捉え方  
の方向にあると捉えてい  
るところですが、引き続  
き指導の充実に当つて参  
りたいと考えています。

## 自己肯定感は改善



## カープ野球教室 (切田グラウンド)

**木野山** 将来の夢や目標を持つていねか。自分の自己肯定感については、非常に自己形成の上で大事だし、郷土を愛する気持ちへ繋がってくるからその辺はどうですかとずーとお願いしてきた訳ですが、縷々年を追う毎に改善をされて成果が出ているということです。力強く思っています。

町長も教養のまちづくりと言う事で読書の提言もされていますが、読書については昨年▲でしたが、今回は改善されています。

将来に希望を持つ子どもが本町から育ちこぢりに帰っていくとか、指導者になってくれればと思います。

**木野山** 調査の結果を踏まえ、環境整備はじつすいのか。  
目標を持つた教育環境の整備が望ましいが。

総合問題に進むのいこの境踏る  
木野山　ハード面の整備についても、スポーツ設備など充実が必要だ。  
今年度から中国新聞と契約を締結し新聞記事の活用などで言語活動の充実を行う。読書活動により文字・活字に触ることで、思考力・判断力・表現力の育成を図る。  
郷土を愛する子どもを育てるために、地域の連携も含めて、取組みを進めまいりたい。

## 新聞記事を活用し 言語活動を充実

続的・発展的に取組みますが、小学校も学力の面で取組む必要がありますので、来年度から小学校にも実施します。

**町長** 神石牛とは生産牛として意義付けていた。今はそうではなく肥育した段階で、系統の良い牛なら肥育して良いサシの入った△5、△4とランク付けされた牛が、広島牛・広島和牛となる。

肥育をして神石で育てていくのが、神石牛としてのブランドの第一条件になる。神石牛のブランドを

牛・神戸牛に劣らないようになるとおもいますが、それには長い期間が必要だ。

肥育を行つて初めて神石牛は良いものなら他地区から入れる。基本的には町内で肥育牛の基礎ができる。元牛は農家の強化を行い量的に確保できれば可能だ。行政としても、長い期間かかりますが、神石牛とし

が、平成22年度の目標年度には飼養頭数を全体で1万350頭にするという目標を掲げてきました。神石では8829頭で達成率は85%でした。繁殖牛でみると頭数がが950頭だったのが1235頭と増頭になっています。

一番の目標にしたい。具体的には優良な子牛を育て供給することを掲げる事が必要と思っています。

向う5カ年の数字目標は、神石高原町内で飼育頭数を平成27年度では2千頭としている。

に、来年度に、ひとりの協議会のような機関をまず創り、ブリンドの登録など手掛け、最終的には新しい会社を立ち上げて挑戦するというのもどうかなと思います。

**長い期間が必要**

町長 神石牛とは生産牛として意義付けていた。今はそうではなく肥育元牛となるものを出来るだけ神石郡内で飼育し、純粹の神石牛となれば、松坂家を育成強化し、生産牛の作ろうと思ったら肥育農

**町長** 不可能ではないと  
言つ事に繋がると思つ。  
一貫生産を行うことにより神石牛としての商業プランを取つてやる。

みについて、具体的に伺う。

神石高原町の体系は繁殖牛が中心なので優良な子牛を生産し優良な成牛に育していくという事を

て強い意欲を持って取り組みたい。

★神石牛のブランドで全国制覇を

今は、地方分権・地方の時代を迎え、民間では無差別の競争の真っただ中にある。公でも同様に、「まちの生き残り」をかけてどうするかが問われている。まさに、「まちづくりが地方の力量」にかかっている。「攻めの体制づくりの確立」が必要で、「差別化と挑戦」が大事です。

県は、比婆牛、神石牛を中心に育種圏の統一を図り、「広島牛」として全国展開されています。

- (1) 広島牛ブランドとして、種の統一がなされたが、神石牛産地の確立と拡大は出来ないか。
  - (2) そのためには、種の広島牛からの脱却が必要で、神石牛として種の確立が出来るのか。
  - (3) 現在の、「和牛の里」再構築プロジェクトの進捗状況について。伺う。



成果としては、農事組合法人「和牛の里」の設立。ハード面での施畜場内の草地改良、堆肥舎の整備。新規就農者の就農、耕畜連携で資料イネ作付面積の増加、資源循環型農業の推進などあります。

4つの柱、①次世代に引き継げる生産基盤の確立、  
②優良子牛の供給、③繁殖・肥育・販売と地域内の一貫生産体制の確立、④市場流通量の向上と飼育から販売体制の整備、の下に今後取組みを進めます。

木野山	町内の繁殖牛農家と、肥育農家をどう伸ばすのか。堂々と神石牛ブランドとして売っていく体制づくりが必要だ。一貫体制でやれば可能だ。
町長	長期的に取組むとの事ですが、来年度からのあげ「第一歩」は何が必要と思つておられるか。